

石東中だより

合い言葉：石東中は未来の私の出発点

令和8年7月17日
発行者：練馬区立石神井東中学校
校長 田邊 克宣

自分で考え、顔を見て、自分の言葉で伝えよう。

先日、トルコの遺跡発掘調査において、類人猿のネアンデルタール人と現生人類のホモ・サピエンスの間に文化的交流があったであろうことが分かったという報道がされました（京都大学・ガジアンデップ大学の研究チームによる）。ご存じの方も多いでしょう。両者は、同じ作り方の化石を用いて、同様の手法で食料を調達していたという実用面での共通性に加え、共に装飾品として貝殻の収集を行っていたらしいということも判明したそうです。大昔、すでに人類の祖先が美術品に対する興味関心をもっていたということに、深い感慨を覚えます。絶滅したネアンデルタール人は短い単語による単純な意思疎通しかできなかったであろうことに対して、ホモ・サピエンスは、複雑で高度な言語能力を武器として、厳しい自然環境を生き抜き、現代まで進化を遂げてきました。後者の言語の優位性は、見えないものを記号化できるという点です。

言葉は、今、目の前にないものでも、それを言語化することによって自ら認識するとともに、他者に伝えることができる働きを持っています。言葉によって、人は、過去や未来といった時間を越え、地球の裏側や宇宙の果てまでといった空間も越えて思いを馳せることができます。時空を越えた想像の世界を、自らの頭の中で展開し、それを他者と共有することができるのが、言葉のもつ力です。

自分の考えを、きちんと他者に伝え、人との関わりを作っていくことが、社会生活を営んでいく基本です。そのためには、まず、自分の頭で考えること。その考えを、自分の言葉に置き換えて、自分自身で振り返ること。そして、それを、面と向かってきちんと相手に伝えること。その果てしない繰り返しの中で、人類は、文明を作り上げてきました。

20万年前（30万年とも）から続く人類の歴史は、この25年で大きく様変わりしました。SNS の出現により、対面での会話の機会がそれにとって替わられました。同時に、これまでの文章表現とは異なる語法から生じる齟齬や誤解に端を発するトラブルが起こるようになりました。それは、話し言葉を抑揚から切り離して文字だけで表現する無理から生じるもので、例えば「やばい」（半世紀前には、この単語自体が不適切語彙でしたが。）という言葉が肯定表現なのか否定表現なのか字面だけでは判別できないことが要因の一つとしてあげられます。対面による他者とのコミュニケーションの希薄化は、よりよい社会の構築を阻害する大きな問題であると考えます。そして昨今では、生成AIの急激な普及が新たな課題となっています。辞書代わりに活用する段階はとうに過ぎ、公私に関わらず文章作成の全てを生成AIに委ねるという、自身の思考活動の放棄が身近で進んでいることに、大きな違和感を覚えるのは、私だけでしょうか。

「自分で考え、相手の顔を見て、自分の言葉で伝える」。人と人とのつながりを紡いでいくための基本を、改めて意識したいと考えるこの頃です。

1学期が終了します。この3か月間、保護者、地域の皆様とは、様々な場面で、対面でお話する機会をいただきました。いずれも、本校生徒の健やかな学びと成長につながるよすがとして、心より感謝申し上げます。今夏も酷暑が予想される中、くれぐれもご自愛ください。

【 通知表について 】所見については、今年度の学びによる変容を総合的に見取ったうえで、学年末に一括して記載いたします。

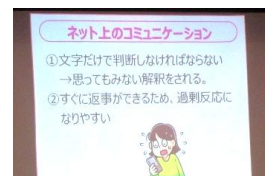
お問い合わせ先電話番号 03-3996-2157

※ホームページ：<http://www.shakujii-e-j.nerima-tyo.ed.jp/>



●情報モラル教室〈6月19日（金）〉

教育ネットサポートセンターの方を講師にお迎えし、上手にインターネットの発信・受信を行うためのルールやマナーについて学びました。利用する場合は投稿内容に責任をもつこと、心の余裕がないときは送信しないこと、相手からの内容はまずはポジティブに受け止め、納得がいけない場合は相手に直に聞き直し、ネットの中だけで解消しようとしなといった注意がありました。



●スクールカウンセラーによる道徳（第1学年）〈6月30日（火）〉

スクールカウンセラーの中平先生により、『お互いの違いを認め合うこと』について考える道徳の授業が行われました。個人の事情によって周囲に合わせることができず、困っている人たちに寄り添うことが社会でも学校でも必要です。困っている人に協力する「ちょっとの勇氣」をもって、協力し合っていきましょう。

●オーケストラ鑑賞教室（第2学年）〈7月7日（火）〉

練馬文化センターにて「オーケストラ鑑賞教室」が開催されました。パシフィックフィルハーモニア東京の皆さんによる映画「スターウォーズ」のメインテーマから始まり、オーケストラの仕組みと楽器紹介がありました。その後ベートーベンの交響曲第5番「運命」第1楽章や映画「ハリーポッター」のヘドウィグのテーマなど、クラシックから映画音楽まで、オーケストラの素晴らしい演奏をゆったり聴き浸る時間となりました。

●セタ飾り〈7月7日（火）〉

2階職員室の踊り場にて、セタに向けた笹に短冊が飾られました。学業や部活動などでの願いを、カラフルな短冊に生徒たちが綴りました。沢山の短冊が飾られて、枝が大きくしなうほどでした。皆さんの願いが叶いますように。



部活動の記録

●サッカー部 [東京都サッカー夏季大会 練馬区] (予選リーグ) ★第三位 決勝トーナメント 2回戦 対 開進三中 ○6-0 準々決勝 対 開進四中 ○2-2 PK 勝ち 準決勝 対 大泉中 ●0-5 三位決定戦 対 三原台中 ●1-3 [三支部 夏季総体] 1回戦 対 北中野中 ●0-2 ●野球部 [下町交流大会] 対 新宿中(葛飾区) ○7-4 対 桐生第一中(群馬県) ●3-10 [練馬区中学校総合体育大会] 1回戦 対 練馬東中 ○18-0 2回戦 対 中村中 ●8-5	●女子テニス部 [練馬区中学校テニス大会](団体の部) ★準優勝 第1ダブルス (3年) ペア 第2ダブルス (3年) ペア 第3ダブルス (3年) ペア 第1シングルス (1年) 第2シングルス (3年) ●卓球部 [第64回学校総合体育大会] (団体戦) 予選トーナメント 女子 対 北町中 ○3-0 男子 対 北町中 ○3-0 対 光が丘三中 ○3-2 対 武蔵中 ●2-3 順位決定リーグ 対 大泉高校附属中 ●1-3 対 光が丘三中 ○3-2 対 石神井中 ●2-3 対 貫井中 ○3-0 対 富士見中 ○3-2 対 中村中 ○3-1 ★第3位 都大会出場決定 ★第5位 (個人戦) 女子 (2年) 5位 (3年) 5位 男子 (3年) 優勝
---	--

部活動の活動予定

●演劇部[劇団サム 第12回公演] 8/29(土) 「AI生徒」 作:小林 真晴
練馬区立生涯学習センターにて公演 8/30(日) 「あなたの町の悩めるヒーロー」作:田中 あり子

主な行事の紹介

7/19(日) 海外派遣出発	10(月) 学校休務日始	13(日) 修学旅行始(3年)
20(祝) 海の日	11(祝) 山の日	14(月) 職場体験始(2年)
21(火) 夏季休業始	17(月) 学校休務日終	給食試食会
三者面談始(3年)	31(月) 夏季休業日終	15(火) 修学旅行終(3年)
26(金) 海外派遣帰着	9/1(月) 始業式 安全指導	16(水) 振替休業(3年)
31(金) 三者面談終	避難訓練	職場体験終(2年)
8/5(木) イングリッシュキャンプ始(1年)	7(月) 生徒朝礼	17(木) 後期時間割開始
7(木) イングリッシュキャンプ終(1年)	9(水) 入学予定者学校説明会	18(金) 食育の日
	12(土) 学校公開 区一斉防災訓練	選挙リハーサル

※8月10日(月)～17日(月)は「学校休務日」です。緊急の連絡がある場合は、練馬区教育委員会にお問い合わせください。
※「学割」が必要な場合は、本校のホームページよりダウンロードして必要事項を記入し、担任または教員にご提出ください。なお、即日の発行は原則できませんので、早めの申し込みをお願いいたします。